

いきものふれあいの里 陶史の森だより

土岐市ネイチャーセンター

☎ 5144

軍配を持っています － グンバイトンボ －

5月中旬あたりから陶史の森の小川に足に白い何かをつけたトンボがひらひらと飛び始めます。グンバイトンボです。

グンバイトンボは大きさ約30mmで翅を拡げても約40mmとトンボの中では小型で、イトトンボに近いモノサシトンボの仲間です。オスの中脚と後脚の^{けいせつ}頸節は白色で丸く平らな特異な形をしています。大相撲の行司が手にしている軍配に似ていることからグンバイトンボという名が付きました。メスにはありません。

主に丘陵地のわき水のある穏やかな清流域に生息しています。幼虫は流れのよどみで生息します。成虫は5~8月に見られ、未熟な個体は草むらで小型昆虫などを捕食して生活していますが、成熟したオスは川の流れに戻り、縄張りを形成します。他のオスに出会うと白い軍配状の脚を大きく拡げてにらみ合います。メスに対しても同じように脚を拡げて自分をアピールします。

グンバイトンボはその分布域の一部において生息状況が悪化しており、種の存続基盤^{せいじゆく}が脆弱と判断され「準絶滅危惧種(環境省、岐阜県)」に指定されています。岐阜県では、御嵩町、土岐市(陶史の森など)、瑞浪市、恵那市、中津川市で確認されています。この種の保護のためにも、陶史の森のような丘陵部の湿地の保全が望まれています。



脚に軍配?



◀グンバイトンボ♂
白い軍配状の
中脚と後脚が特徴



グンバイトンボ♀▶
中脚と後脚に
軍配状の形はなし

森の
日記

ギフチョウを放蝶しました
4月3日(日)

まん延防止は解除されていましたが、今年も縮小した形で放蝶会を開催しました。あいにくの雨天でしたので、蝶の館でギフチョウを放しました。その場が撮影会場となり、参加者は、ツツジにとまるギフチョウの姿を撮影していました。

陶史の森で元気に飛び交ってほしいと優しく見守る皆さんでした。



放蝶会



ギフチョウ

教室のご案内

5月

●バードウォッチング (要申込 定員10人)

5月22日(日) 午前9時~11時30分
初夏の野鳥を観察します。※雨天中止

6月

●ミツバチ教室 (要予約 20家族)

6月18日(土) 午前9時~11時30分
ミツバチ対応のために白色の服装、帽子を準備してください。蜂アレルギーの方はご遠慮ください。

●バードウォッチング (要申込 定員10人)

6月26日(日) 午前9時~11時30分
梅雨期の野鳥を観察します。※雨天中止

※新型コロナウィルスの感染状況により中止になる場合があります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。